

▶ 小学校の体育館において県産材を使用した床の改修工事を行うことで、学校生活における児童生徒の安全な授業及び活動が送れるとともに、地域住民の避難所及びコミュニティ施設としての役割を担うための環境整備を行った。

事業内容

小学校施設維持補修事業（臨時）体育館床改修工事

- 県産材を使用した小学校の体育館床の増張り
- 【事業費】19,440千円（うち譲与税10,000千円）
延床面積：919㎡

取組の背景

- 細野小学校体育館は昭和61年竣工より築37年が経過している。老朽化により一部の床板に部分的な割れが生じるようになったことから、今後床板の剥離等防止のため、床改修工事を行う。
- 小学校施設としての活用だけでなく、地域の避難所やコミュニティ施設としての重要な役割を担っている。

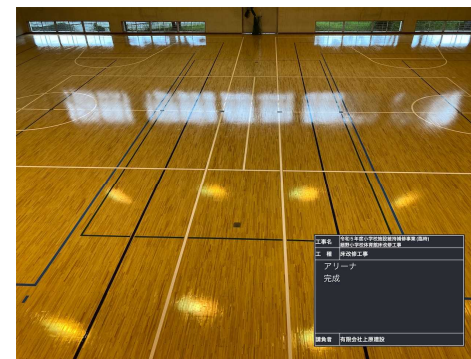
取組の効果

- 体育館の床が改修されることにより、学校生活における体育館を使用した児童生徒の安全な授業及び活動を送ることが可能となるとともに、地域住民の避難所及びコミュニティ施設として機能を発揮できる。

【着工前】 ※床の劣化あり



【着工後】



基礎データ

①令和5年度譲与額：56,135千円	②私有林人工林面積（※1）：6,168ha	
③林野率（※1）：73.9%	④人口（※2）：43,670人	⑤林業就業者数（※2）：223人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より